

報 告

CSUN 国際会議主催者会議報告

Report of CSUN-International Conference Organizers Meeting

新潟医療福祉大学 名誉教授

ピッツバーグ大学 客員教授

大鍋 寿一 Hisaichi Ohnabe

1. はじめに

CSUN (California State University, Northridge) カンファレンス (Annual International Technology & People with Disability Conference) の中で開催された国際会議主催者会議 (International Conference Organizers Meeting) に参加したので報告する。今回の会議で RESJA の国際セッションの案内もこのグループ (通称 Concertation Meeting Group という) メンバーのホームページに掲載されている国際会議の案内に加えられた。

2. CSUN カンファレンス

今年の CSUN カンファレンスは米国サンディエゴで 2 月 27 日から 3 月 3 日まで行われた。

- ・海外からの参加者は 295 人
- ・セッションへ参加者は 2000 人
- ・展示訪問客 4500 人
- ・カンファレンスでは今年から新しいオンライン登録制を使用していた。

3. CSUN 国際会議主催者会議

3.1 会議の目的・構成

- ・国際会議の主催者で、構成メンバーは徳島アグリーメント・グループ (欧州リハビリテーション工学協会 (AAATE)、北米リハビリテーション工学協会 (RESNA)、豪州リハビリテーション工学協会 (ARATA)、工学協会 (RESJA) (以下、RESJA) に加えて eAccessibility Forum, International Conference on Computers

Helping People with Special Needs (ICHP Conference)、CSUN Conference である。

- ・国際会議主催者会議は CSUN カンファレンスの開催時を主に、他の国際会議 (ICHP など) でも開催される。
- ・目的は国際会議の開催や発表される情報の共有化の仕組みをつくることである。
- ・どこまで共有化していくかは今後議論を続行していくが、例えば、演題、著者、アブストラクトなどで会議の英語本の出版社とも協議したいとのことである。
- ・RESJA も本会議で掲載してもらえることになった。図 1 は AAATE のホームページ¹⁾に掲載されているものである。RESJA のホームページ (海外関連学会)²⁾にも掲載されている。
- ・使用言語は英語

3.2 RESJA からの報告

RESJA からは下記の件を報告した。

- 1) 第 23 回 JCAART2008 (新潟) の英語本^{3), 4)}を発行し、ハードカバー本を徳島アグリーメントグループの協会及び CSUN カンファレンス事務局へ RESJA 事務局から送付した。
- 2) 韓国リハビリテーション工学協会 (ESKO) と「日韓リハビリテーション工学協会協力協定」を締結した⁵⁾。
- 3) 第 26 回 JCAART2011 (大阪) の報告を実行委員長古井透氏作成のパワーポイントに従い代理で行った。彼等は英語でないとわからないので、どこまでを英語でおこなったか知りたいとの質問があった。
- 4) 第 27 回 JCAART2012 (福岡) の開催予告を実行委員会作成のポスターによりおこなった。なおこ

RESJA 国際担当理事

〒359-1141 埼玉県所沢市小手指町3-13, M204(自宅)

E-mail : hohnabe@aol.com

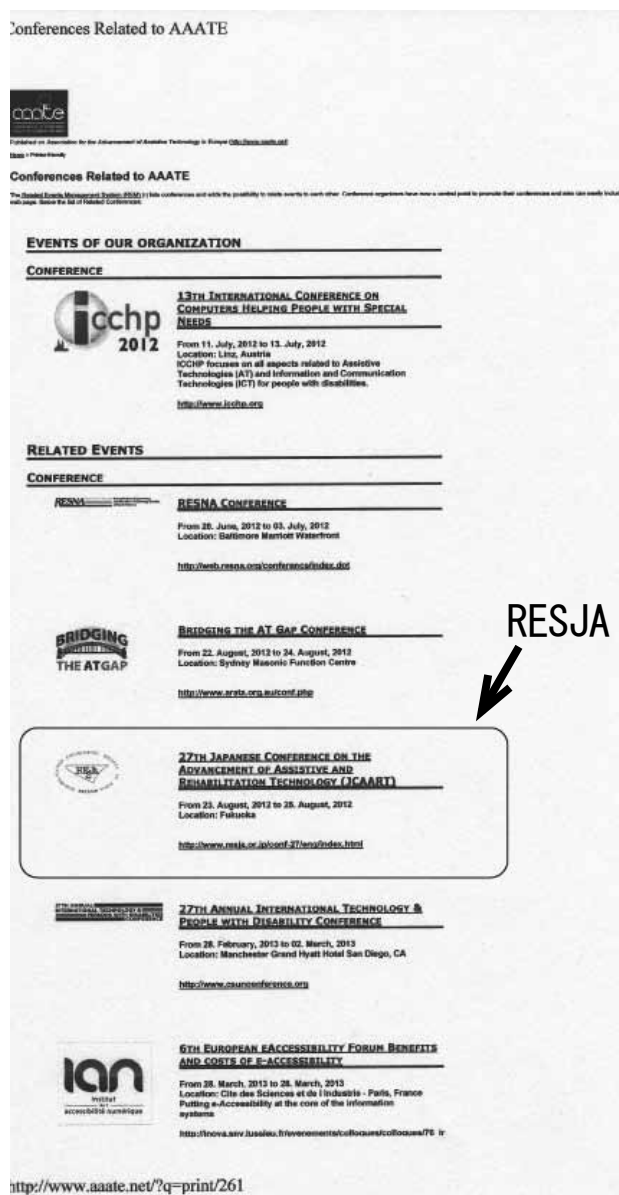


図1 国際会議案内ホームページ (AAATE)



図2 CSUN における第 27 回 JCAART2012 (福岡) ポスターの一般配布

のポスターの印刷は CSUN 事務局の好意で行って頂き、登録受付近くのポスター受けで参加者へ配布された (図 2)。

3.3 RESNA, AAATE, ICCHP

RESNA

今年のカンファレンスは 6 月にボルチモアで開催。2013 カンファレンスは INTERNATIONAL CONFERENCE ON REHABILITATION ROBOTICS (ICORR) と同じ場所のシアトルで開催する。各々 2 日間とし、1 日は重複する。

AAATE

AAATE2013 はポルトガルで 9 月 19 ~ 22 日に行う。http://www.aaate2013.eu/

4. 特記事項

- ・韓国 RESKO とは、昨年 MOA を結んだが、CSUN カンファレンスでは論文発表や EXHIBIT で日本に比べ元気さが目立っていた。2012 年 10 月 30、31 日インチョンで International Symposium on QOLT (QOL テクノロジーに関する国際シンポジウム) を開催。
- ・香港は RESNA の資格取得者数もカナダをぬいたとのこともあり、徳島アグリーメントメンバー G に入りたいと RESNA へ要望したとのことである。
- ・台湾も入会希望とのことである。
- ・シンガポールとタイとの共同開催の i-CREAtE は国際会議である。
- ・国際会議開催者は本会議に呼びたいとのことである。
- ・RehabTech Asia 2013 は潜在的パートナーと思われる。

まとめ

今回、RESJA の案内も国際会議主催者会議メンバーのホームページに掲載されている国際会議の案内 (Related Conferences) に加えられたのは一歩前進であった。

出来るだけ早い機会に RESJA の国際セッションは生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会など国際活動に積極的な学協会との共催を視野に all Japan の国際会議にすべきと強く感じた。そ

れが世界に日本の実力を発信し、貢献する良い方法であると思われる。

【参考資料】

- 1) <http://www.aaate.net/?q=node/261>
- 2) <http://www.resja.or.jp/link.html>
- 3) H. Ohnabe, M. Kubo, D. M. Collins and R. A. Cooper edit., “SELECTED PAPERS FROM THE JAPANESE CONFERENCE

ON THE ADVANCEMENT OF ASSISTIVE AND REHABILITATION TECHNOLOGY 23rd JCAART 2008, Niigata”, IOS Press, 2011. (ハードカバー本)

- 4) <http://www.booksonline.iospress.nl/Content/View.aspx?piid=19770> (Online 出版本)
- 5) 大鍋、日韓リハビリテーション工学協会協力協定締結報告、リハビリテーション・エンジニアリング, Vol. 27, No. 2, (2012), pp. 105-108